

テーマ

希望の持てる神奈川

政 総 安 文 環 福 健 産 土 企 教 警

I

プロジェクト

5

観光・地域活性化

～かながわの地域資源を生かした魅力的な地域づくり～



プロジェクトのポイント

- 神奈川は人口減少局面に入り、特に三浦半島地域圏と県西地域圏で人口減少が進行
- 観光の振興や、地域の特性を生かした事業、移住・定住施策の推進
- 地域ににぎわいを生み出し、人口の社会増につながる魅力的な地域づくりをめざす

神奈川においても、明らかに人口減少局面に入り、特に三浦半島地域圏及び県西地域圏では、人口の減少が進んでいます。こうした状況を受け、観光客などを地域に呼び込む交流人口の創出や県内への移住者を増やすことが求められています。

そこで、国内外から観光客を呼び込むプロモーションを積極的に実施します。また、地域の特性を生かしたプロジェクトの推進や、地域資源を活用した移住・定住施策を推進します。こうした取組により、地域ににぎわいを生み出すとともに、人口の社会増につながる魅力的な地域づくりを進めます。



ガイドによるプライベートツアー



未病バレー「ビオトピア」

指標 (プロジェクトの達成度を象徴的に表す数値)



※算出に必要な一部データ欠測のため

具体的な取組

A 観光の振興

- 客観的なデータを根拠とした施策を展開するため、様々な観光データを収集・分析し、効果検証などに活用します。
- 観光消費の拡大につなげるため、体験型などの高付加価値コンテンツ等の発掘・磨き上げに取り組みます。また、多様化するニーズに対応するため、質の高いガイド人材の育成強化を図ります。
- 国内外から訪れる観光客が、快適で安全・安心な旅ができる受入環境の整備を進めるため、観光関連事業者が行う観光DX等の新たな観光需要に対応した取組などを支援します。
- SNS等を活用し、多様なニーズに応じたきめ細かな観光情報を発信します。また、かながわDMO(神奈川県観光協会)や市町村、観光関連事業者等の地域の関係者と連携し、宿泊につながる周遊観光の促進に取り組むなど、地域の特徴や意見を踏まえた国内外への戦略的プロモーションを実施します。
- 観光の核づくり地域が周辺地域等と連携して実施する取組への支援を通じ、魅力ある観光地の形成や県内の広域周遊の促進をめざします。

<KPI>

観光客満足度(観光客が「大いに満足した」と評価した割合)

(神奈川県観光消費動向等調査、神奈川県外国人観光客実態調査、観光庁観光入込客統計に関する共通基準) (%)

現状(2022)	2024	2025	2026	2027
77.6	80	80	80	80

延べ宿泊者数【暦年】

(観光庁 宿泊旅行統計調査) (万人泊)

現状(2022)	2024	2025	2026	2027
2,209 (2,388[2019])	2,430	2,462	2,495	2,530

海外向け SNS の総フォロワー数(総数)

(県観光課調べ) (フォロワー)

現状(2022)	2024	2025	2026	2027
218,789	242,000	258,000	276,000	295,000

B 地域にひとの流れをつくる取組の推進

- 三浦半島地域の活性化を図るため、「海」や「食」など、三浦半島地域の多様な資源の魅力を生かした「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を推進します。また、湘南国際村ににぎわいを生み出すことで、三浦半島全体の活性化につなげます。
- 国内外から多くの観光客を呼び込むため、民間事業者と連携した海上交通の取組など、神奈川の海の魅力を高める「かながわシープロジェクト」を推進します。
- 未病の戦略的エリアである県西地域の活性化を図るため、未病改善の実践の促進や、未病バレー「ビオトピア」などの拠点の活用、周遊促進による地域のつながり強化などを主な取組として、県西地域における食、運動、癒しなどの多彩な地域資源を生かした「県西地域活性化プロジェクト」を推進します。
- 神奈川の豊かな水を育む水源地域の活性化を図るため、宮ヶ瀬湖など水源地域が持つ自然や歴史、文化といった資源を魅力として発信するとともに、水源環境の理解促進や交流の場の拡充に取り組みます。

<KPI>

三浦半島地域(鎌倉市を除く)の入込観光客数【暦年】

(神奈川県入込観光客調査) (万人)

現状(2022)	2024	2025	2026	2027
1,353 (1,650[2019])	1,483	1,547	1,611	1,675

県西地域の入込観光客数【暦年】

(神奈川県入込観光客調査) (万人)

現状(2022)	2024	2025	2026	2027
3,315 (3,431[2019])	3,451	3,519	3,587	3,655

me-byo エクスプラザへの来場者数

(県地域政策課調べ) (人)

現状(2022)	2024	2025	2026	2027
53,681 (129,088[2019])	57,000	58,000	59,000	60,000

水源地域の入込観光客数【暦年】

(県土地水資源対策課調べ) (万人)

現状(2022)	2024	2025	2026	2027
743 (711[2019])	900	918	936	955

C 移住・定住の促進

- 神奈川への将来の移住につなげるため、「ちょっと田舎でオシャレな神奈川ライフ」をキーワードに県内各地域の生活イメージを発信するほか、神奈川と継続的に多様な形がかわる関係人口の創出に向け、都心に近く繰り返し訪れやすいという強みを生かし、多様な交流機会の創出に取り組みます。
- 都心で働く世代の県内への移住・定住を促すため、移住希望者に対する相談や市町村と連携したセミナーなどを実施するほか、専門人材の派遣などにより市町村が移住促進に取り組む中で直面する様々な課題の解決を図ります。
- コミュニティの再生・活性化を図るため、市町村や企業、NPO、団体などと連携し、人と人とのつながりを創出する機会や場の提供に取り組みます。

<KPI>

移住・定住関連のウェブサイトのページビュー数(累計)

(県地域政策課調べ) (PV)

現状(2022)	2024	2025	2026	2027
200,162	400,000	500,000	600,000	700,000

県や市町村の相談等の移住施策を経由して移住した人数

(県地域政策課調べ) (人)

現状(2022)	2024	2025	2026	2027
222	227	232	237	242

かながわコミュニティ再生・活性化推進会議に参加する市町村の満足度

(県のち・未来戦略本部室調べ) (%)

現状(2023)	2024	2025	2026	2027
-	82	88	94	100